

様式2

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県立伊東高等学校

校長名 成 田 優

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	静岡県立伊東高等学校 生徒474人 伊東市立北中学校 生徒154人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () 行事名 (「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント」講演会) ② その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックアスリートから高いオリンピズムを学ぶことにより、高いオリンピズム(精神、身体能力、友情、尊重、平和、平等など)を感じ、その後の人生に、チャレンジ、努力、社会貢献、国際的な視野、共生などの感覚を持つ。
5 取組内容	① 授業等を通して、オリンピックの歴史、競技種目、ルールやアスリートの努力、苦悩、生き方に関する内容を取り入れる。 ② オリンピックアスリートの講演会の開催。
6 主な成果	オリンピック・パラリンピックに対する知識を高め、また、講演会では、努力すること、自信を持つこと、夢を持つことの大切さ、挫折やくじけそうになったときの経験談等を聞くことにより、今後の学生生活やその後の人生に大変有意義なものとなった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	中学校と高等学校の生徒対象に合同で講演会を実施した。 事前指導として「オリンピック・パラリンピック」の知識・関心を深めるためにクイズ形式の予備講座を行った。 また、講演会では、インタビュアーによる、質問形式で努力や経験、生徒が興味・関心がある事柄等の話をいただいた。
8 主な課題等	県と市の連携不足 経費の制限
9 来年度以降の実施予定	未定